



新年のご挨拶

新しい年を迎える皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げます。弊社は昨年12月に、「えるぼし認定」をいただき、女性が輝ける職場づくりに一層励んでおります。

生演奏のぬくもりを大切に、音楽や映像の制作にも心を込めて取り組んでまいりました。弊社の理念「社会と音楽の架け橋となる企業を創造します」を信念にこれからも皆さまのご期待に添えるよう、お役に立てる企業として一歩一歩進んでまいります。これからも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

有限会社サウンドオフィス・コア
代表取締役 菊永良枝



心に響く一曲

LA・LA・LA・LOVE SONG ♪久保田利伸 with ナオミ・キャンベル

1996年に発売され、ドラマ『ロングバケーション』の主題歌としても話題を呼びました。当時ニューヨーク在住だった久保田は、偶然同じマンションに住んでいたナオミ・キャンベルとエレベーターで出会い意気投合し、自然な流れで彼女をボーカルに迎え共演が実現しました。曲の特徴的なシャッフルリズムやコード進行は、R&Bとポップスを絶妙に融合させるセンスの賜物で、シンプルながらも心地よいグルーヴを生み出しています。

イントロが鳴った瞬間、気持ちが前向きになるのはまさにこの音楽的魔法の力。今年、デビュー40周年を迎える中でも、この曲は不朽の名作として輝き続けています。

まわれまわれ メリーゴーラウンド もうけして 止まらないように 動き出したメロディ LA・LA・LA・LOVE SONG

(日本音楽著作権協会(出) 許諾第2508334-501)

季節に合うおすすめの1曲

1月 「北風小僧の寒太郎」

1974年にNHK『みんなのうた』で放送され、堺正章が歌唱した。寒太郎は、当時の人気ドラマ「木枯し紋次郎」をイメージしたキャラクターで、軽快なメロディーで寒さをユーモラスに描いている。同番組の楽曲の中で再放送回数が最も多く、今でも冬の定番ソングとして親しまれている。



2月 「恋」

2016年10月5日に発売された星野源の代表曲である。ドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』のエンディングで出演者が踊る、通称「恋ダンス」が社会現象になった。ポップでキャッチャーなメロディーではあるが、要所で中国の弦楽器・二胡が使われており、どこかエキゾチックな雰囲気も醸し出している。



QRコードから
「恋」の演奏動画が
ご覧いただけます

音楽豆知識

作曲家編 第4楽章 日本近代音楽の父 山田耕作（やまだこうさく）

日本で初めて本格的に「作曲家」という道を切り開いたのが、
山田耕作（1886～1965）です。ドイツに留学し、西洋の**作曲技法**を
学んだのち、日本語の響きに合う旋律を追求しました。

「からたちの花」「この道」「赤とんぼ」など、どこか懐かしく温かな
メロディは、世代を超えて愛されています。
また、東京フィルハーモニーの前身となる**管弦楽団**を設立し、日本の
オーケストラ文化の基礎を築いた人物でもあります。彼の音楽には、
異国の技法と日本人の心が調和し、今もなお“**日本の情緒を歌う音**”
として生き続けています。

代表曲

この道（作詞：北原白秋）
からたちの花（作詞：北原白秋）
赤とんぼ（作詞：三木露風）
ペチカ（作詞：北原白秋）
待ちぼうけ（作詞：北原白秋）



バレンタイン コンサート開催

お酒とお食事を
しながら生演奏が
楽しめるランチ
コンサート
是非お越しください

オンライン
生配信有



2月8日（日）
12:30～ 六本木バードランド

編集後記

2026年が始まりました！サウンドオフィス・
コアの冬の一大イベントといえば、「バレンタイン
コンサート」です！今年も2/8六本木バードランド
で開催します。現在準備の真っ最中(^_^A

皆様に楽しんで頂けるコンサートにするべく、
頑張っておりますので是非ご来場くださいませ。
もちろん配信もあります★



コア美

ブライダル・セレモニー・イベント演奏 思い出スクリーン® かたらい葬®

有限会社サウンドオフィス・コア

一般社団法人 演奏コーディネーター協会

〒202-0012 東京都西東京市東町3-13-21 クレストコート保谷403

TEL:042-421-7150 FAX: 042-422-0894

HPアドレス: <https://www.so-koai.jp>



公式LINE

演奏動画配信中

